

# 甲田 宗嗣

こうた むねつぐ

甲田 宗嗣 Munetsugu Kota

健康科学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻 教授（理学療法学専攻長）

## 学歴・学位

広島県立保健福祉短期大学理学療法学科 卒業（理学療法士免許取得）

放送大学教養学部発達と教育専攻 卒業 学士（教養）

広島大学大学院保健学研究科博士課程前期保健学専攻 修了 修士（保健学）

広島大学大学院保健学研究科博士課程後期保健学専攻 修了 博士（保健学）

## 主要職歴

平成 11 年 4 月～平成 13 年 3 月	赤穂市民病院 理学療法士
平成 13 年 4 月～平成 17 年 3 月	広島県立保健福祉大学保健福祉学部理学療法学科 助手
平成 17 年 4 月～平成 19 年 3 月	県立広島大学保健福祉学部理学療法学科 助手
平成 19 年 4 月～平成 19 年 12 月	県立広島大学保健福祉学部理学療法学科 助教
平成 20 年 1 月～平成 20 年 3 月	広島市社会局広島市総合リハビリテーションセンター開設準備室
平成 20 年 4 月～平成 26 年 3 月	広島市総合リハビリテーションセンター 理学療法士
平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月	地方独立行政法人広島市立病院機構広島市立リハビリテーション病院 理学療法士
平成 27 年 4 月～令和 3 年 3 月	広島都市学園大学健康科学部リハビリテーション学科理学療法学専攻 准教授
令和 3 年 4 月～令和 4 年 3 月	広島都市学園大学健康科学部リハビリテーション学科理学療法学専攻 教授
令和 4 年 4 月～現在	広島都市学園大学健康科学部リハビリテーション学科理学療法学専攻 教授（理学療法学専攻長）

## 専門分野

理学療法学、リハビリテーション、健康心理学、医学教育学

## 主な担当科目

---

神経系理学療法学、理学療法学概論、理学療法学研究法、国際リハビリテーション学

## 研究テーマ

---

- ・ 疾病にともなう障害重度化のメカニズムを明らかにし、障害の評価方法を開発する研究
- ・ 理学療法などの介入による障害の重度化予防と治療に関する研究
- ・ 重度化予防を担う病院や地域の組織作り、人材育成に関する研究
- ・ 地域住民の健康増進、介護予防に関する研究

## ひとこと

---

大学に入学される皆様へ

理学療法学を一言で表現すると「動きの障害に向き合う」学問です。動きといっても、関節の動きや筋肉の伸び縮み、立ったり歩いたり、さらにはスポーツ競技をしたり働いたりなど幅広い枠組みで捉えます。病気の種類によって動きの障害の質は異なりますので、一見、同じように歩くのが難しくなった場合でも、病気が違えば難しさの質は変わります。理学療法学では、病気により生じる動きの障害を詳しく学び、動きの障害を治療する方法を学びます。また、最近では運動をすることで、動きの障害の発生を防ぐ予防についても注目されています。また、動きの障害に向き合うということは、人と向き合うことでもあります。人と向き合うということは人をよく知るということです。動きの障害についてはもちろんですが、その人を取り巻く環境や人間関係、その人が経験してきたことについて理解を深める必要があります。すなわち、幅広い教養が求められます。ぜひ、大学で幅広い教養を身につけていただきたいと思います。

人の役に立ちたい、人と直接接する仕事をしたい、病気や障害のある人の支えになりたい、自分が病気やケガをした経験を活かしたい。そのような思いを持つ人にとって理学療法士は、やりがいのある仕事になると思います。ぜひ、志を持ち、本学に入学し、理学療法士を目指しましょう。皆様の夢を全力でサポートします！

大学院生へ入学される皆様へ

私は、これまで臨床→教育→臨床→教育という職歴のなかで、地域在住高齢者に対する転倒予防教室や介護予防教室の実践と効果検討、加齢に伴う人の動きのバイオメカニクス研究、行動分析学や認知行動療法をリハビリテーション医療に応用する研究、脳卒中や神経難病などの神経障害に対する臨床で簡便に活用できる評価指標の開発や理学療法の効果検討、切断や多発外傷に対する理学療法の実践報告、臨床実習を中心とした理学療法士の卒前教育の開発と効果検討に関する研究、理学療法士のキャリアデザイン支援に関する研究など、多岐にわたる領域で研究を行ってきました。これらの研究を通して、一貫してヒトの動きの障害と活動の制限に関心を持ち、発生予防、重度化予防、治療、さらには組織的な対応や人材育成の観点から取り組んでまいりました。

理学療法士や作業療法士などがリハビリテーション医療で対峙する障害は、個人差が大きく、文化社会的な影響も受けるため、研究するためには多様な視点を持った上で特定の内容に焦点を絞る必要があります。大学院教育においては、このことを念頭に置き、皆様の研究をサポートしたいと思います。

## その他（所属学会・団体）

---

### 主な所属学会

日本理学療法士学会、日本医学教育学会、日本健康心理学会

### 主な社会活動

公益社団法人日本理学療法士協会 代議員、公益社団法人広島県理学療法士学会 副会長、日本神経理学療法学会 運営幹事、精神・心理領域理学療法部門 運営幹事

## 研究活動

---

### 学術論文

- 1) Factors affecting physical therapists' job satisfaction: questionnaire survey targeting first-year physical therapists [Kota M, Kudo H, Okita K] J Phys Ther Sci 第 30 巻 pp.563-566 2018 年
- 2) Relationships between motives to become a physical therapist, delayed graduation, and perceptions of school and internship learning among physical therapy students [Kota M, Kudo H, Okita K] J Phys Ther Sci 第 30 巻 pp.136-139 2018 年
- 3) 臨床実習における理学療法学生の自己評価としての成果に関する意識調査 [甲田宗嗣、上川紀道、伊藤祥史、平岩和美、他] 広島都市学園大学雑誌 第 3 巻 pp.41-47 2017 年
- 4) 広島県理学療法士会発行の学術誌に掲載された原著論文の変遷 理学療法の臨床と研究 第 26 号 pp.41-46 2017 年
- 5) 理学療法士の卒前教育と臨床実習、卒後教育 理学療法の臨床と研究 第 26 号 pp.9-15 2017 年
- 6) 回復期リハビリテーション病棟における臨床実習ガイドラインに基づいたクリニカル・クラークシップ経験前後での臨床実習性の認識の変化 [甲田宗嗣、森内康之] 理学療法の臨床と研究 第 25 号 pp.85-90 2016 年
- 7) 回復期リハビリテーション病棟におけるトイレ介入チャートの開発と妥当性の検討 [甲田宗嗣、後河内淳、小林浩介、砂堀仁志、他] 理学療法の臨床と研究 第 24 号 pp.19-23 2015 年
- 8) 理学療法士のプロフェッショナリズムに関する意識調査と講習会開催経験 [甲田宗嗣、沖田一彦、辻下守弘] 理学療法の臨床と研究 第 22 号 pp.11-13 2013 年
- 9) 脳卒中片麻痺を重複した大腿切断患者に対する理学療法の経験 [甲田宗嗣、板橋史典、杉原勝宣] 理学療法の臨床と研究 第 21 号 pp.123-126 2012 年
- 1 0) 慢性期脳卒中片麻痺患者に対する筋電図バイオフィードバック装置を用いた短期集中理学療法に関する効果の運動学的検討 [甲田宗嗣、工藤弘行、杉原勝宣、加世田ゆみ子] 理学療法の臨床と研究 第 20 号 pp. 39-43 2011 年
- 1 1) 脳卒中片麻痺患者に対する動作能力指標の開発 [甲田宗嗣、平山秀和、小林浩介、砂堀仁志、他] 脳卒中 第 33 巻 pp.175-181 2011 年
- 1 2) 短期集中理学療法により著名に運動能力が改善したパーキンソン症候群の症例研究 [甲田宗嗣、渡部

- 由香、本多洋平、河宮百合恵、他) 理学療法の臨床と研究 第 19 号 pp.41-44 2010 年
- 1 3) Differences in biomechanical characteristics of sit-to-walk motion between younger and elderly males dwelling in the community [Munetsugu Kouta, Koichi Shinkoda] Journal of Physical Therapy Science 第 20 巻 pp.185-189 2008 年
  - 1 4) 臨床実習での課題学習および症例レポートにおける指導者と学生間での認識の違い [甲田宗嗣、沖田一彦] 理学療法の臨床と研究 第 17 号 pp.9-13 2008 年
  - 1 5) 地域在住高齢者における起立 - 歩行動作のバイオメカニクスと運動能力および転倒軽重との関連 [甲田宗嗣, 新小田幸一] 理学療法科学 第 23 巻 pp.125-131 2008 年
  - 1 6) Biomechanical analysis of the sit-to-walk series of motions frequently observed in daily living: Effects of motion speed on elderly persons [Munetsugu Kouta, Koichi Shinkoda, Michele Eisemann Shimizu] Journal of Physical Therapy Science 第 19 巻 pp.267-271 2007 年
  - 1 7) Sit-to-walk versus sit-to-stand or gait initiation: Biomechanical analysis of young men [Munetsugu Kouta, Koichi Shinkoda, Naohiko Kanemura] Journal of Physical Therapy Science 第 18 巻 pp.201-206 2006 年

---

## 著書

- 1) ADL 指導の実際：片麻痺：日常生活活動学・生活環境学 (鶴見隆正、隆島研吾 編) 医学書院 2017 年 11 月
  - 2) 足関節・足部の解剖学と運動学：身体機能・歩行動作からみたフットケア (野村卓生、河辺信秀 編) 文光堂 2016 年 5 月
  - 3) 脳卒中に対する体重免荷トレッドミルを用いた理学療法：理学療法 MOOK19 ニューロリハと理学療法 (大畑光司) 三輪書店 2016 年 8 月
  - 4) 神経難病に対する理学療法技術の検証：理学療法 MOOK 17 理学療法技術の再検証 - 科学即技術の確立に向けて - (福井勉、神津玲、大畑光司、甲田宗嗣 編) 三輪書店 2015 年 5 月
  - 5) 起き上がり、立ち上がり、座位動作、歩行、歩行関連動作：病態運動学 (星文彦新小田幸一、臼田滋 編) 医学書院 2014 年 1 月
  - 6) 理学療法介入に際した痛みの心理学的捉え方と対応：心理・精神領域の理学療法はじめての一步 (奈良勲、仙波浩幸、山本大誠、富樫誠二 編) 医歯薬出版 2013 年 4 月
  - 7) 歩行の介助：介護実習入門 (守本とも子、星野政明 編) 黎明書房 2012 年 3 月
  - 8) 変形性関節症 (総論)：運動器障害理学療法学テキスト (高柳清美、中川芳一、木藤伸宏、細田昌孝 編) 南江堂 2013 年 10 月
  - 9) 末梢神経麻痺 (腓骨神経麻痺)：臨床実習とケーススタディ (鶴見隆正、辻下守弘 編) 医学書院 2011 年 3 月
  - 1 0) 脳・神経系の疾患：看護学実践 老年看護学 (川野雅資 監) ピラールプレス 2010 年 12 月
  - 1 1) 介護従事者の安全：介護の基本・コミュニケーション技術 (守本とも子、星野政明 編) 黎明書房 2010 年 5 月
-